

「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」議員別ご回答結果

一般社団法人全国がん患者団体連合会（全がん連）は、2016年6月1日より全ての国会議員の皆様を対象に、「がん対策基本法改正案に関する国会議員アンケート」を実施しました。

本用紙は、ご回答をいただいた国会議員の皆様につきまして、議員別にその内容を記したものです。がん対策の推進に関心をもっていただき、ご回答をいただいた議員の皆様方に感謝申し上げます。国会議員のご回答一覧は、全がん連ホームページで公開しています。（ホームページアドレス：<http://zenganren.jp/>）

国会議員アンケートご回答結果こちら

国会議員名

大隈 和英 （衆議院議員／自民／大阪7区）

問1 超党派議連「国会がん患者と家族の会」より提案される予定の「がん対策基本法改正案」について、次の臨時国会での早期成立が必要と考えますか？

はい いいえ その他

【その他の場合のコメント】

問2 第24回参議院議員通常選挙（6月22日公示、7月10日投開票）に関して、政党のマニフェスト（選挙公約）などで「がん対策の推進」に関する内容が重視されるべきと考えますか？

はい いいえ その他（ ）

【その他の場合のコメント】

問3 がん対策の推進に関してご意見があれば、自由にご記入ください。

【自由記述欄】

国民2人に1人が罹患する。がん対策は国の政策の柱の一つとして戦略的に推進することが不可欠です。学会、患者会すべての関係者の英知を結集して世界で最も優れた法律として改正案を誕生させる為に全力で努力致します。